

令和2年度 第1回 宜野湾市市民協働推進審議会 会議録（要旨）

日時：令和2年11月13日（金）午後3時～午後5時

場所：宜野湾市役所 庁議室

出席：畑中寛会長、中野謙副会長、玉城直美委員、波平道子委員、山内さとみ委員、
山内一郎委員、與儀常貴委員、泉川幹夫委員、伊佐真委員

欠席：真鳥かおり委員

1. 市長あいさつ
2. 委嘱状及び辞令交付
3. 自己紹介（氏名、所属、活動内容）
4. 会長並びに副会長の選出
5. 審議

発言者	審議内容
開会	開会
会長	宜野湾市市民協働推進審議会の会長に就任しました、畑中寛と申します。会長として、皆さまの発言の機会をつくれるよう努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。 では、議事に入ります前に、事務局より委員の出席状況について、報告をお願いいたします。
事務局	委員10名中、本日の出席者は9名、お1人が欠席となっております。
会長	会議規則第6条第2項に基づき、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議は成立いたします。ではこれより議事の進行を進めてまいります。
事務局	議題1：市民協働推進審議会について、事務局から説明をお願いします。 【資料に沿って説明】

会 長	<p>それでは、議題1：市民協働推進審議会についての説明が終わりましたが、それについて、何かご質問等がありますか。</p> <p><質疑応答> なし</p>
会 長	<p>よろしいでしょうか。それでは議題2：市民協働推進基本指針・実施計画の内容説明について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料に沿って説明】</p>
会 長	<p>それでは、議題2：市民協働推進基本指針・実施計画の内容の説明が終わりましたが、それについて、何かご質問等があればお伺いしたいと思います。</p>
委 員	<p>今回、私たちが評価をしていくという事で良いでしょうか。</p>
事務局	<p>次回、第二回の審議会において、これまでの事業や審議会の課題事項を説明いたします。その後、事務局において行政評価を示しますので、委員の皆さまからご意見やアドバイスを頂きたいと考えています。</p> <p>評価を踏まえて、次年度以降の施策を検討したいと考えています。</p>
委 員	<p>評価の仕方は、年間どれくらい経済を回したかなど、しっかりと数値化をしていくことが大事だと思います。</p> <p>市民からすると市民協働という言葉自体もわかりにくく、どんな成果があり、何が変わったのか、わかりにくい。</p> <p>何か関わりたいと思っても、なかなか参画できないということもあると思います。地域の方がどんな活動していて、何を解決したのか、わかりやすい見せ方をしてほしいと思います。</p> <p>宜野湾市の課題は何で、5年間でこんな風に変ったということを分かりやすく示してほしいと思います。</p>
事務局	<p>事務局からすると、29も施策があつて、数値化しにくいという事もありました。事業を行うことで、どのような成果が上がったのかを、今後は重視していきたいと思います。</p>
委 員	<p>沖縄県が、NPO白書を作成されたときに、沖縄県の具体的な課題を10個ぐらい選んで、それに対して、市民団体がどんな活動をしたのかを、1枚にまとめていた。とてもわかりやすかつ</p>

事務局	<p>た。</p> <p>宜野湾市にいる団体が、市民の生活をどのように支えているのかが分かると、税金を使うことの必要性もわかる。</p> <p>ヨーロッパと日本のボランティアの数は圧倒的に違う。日本は、参加の仕方が分からないということ。</p> <p>どういう人たちが、どんな活動をしているのかわかると、市民協働が進んでいく。今回の評価が、このようになればと思います。</p> <p>事務局としても、成果がどう出ているかが、表しきれない課題があります。全庁的に取り組んでいく機運を高めていくことが必要だと感じています。</p> <p>どんな協働が行われていて、成果は何なのか、他の部署がやっていることが分からないという課題があります。</p>
委員	<p>社会の課題が、行政だけでは、追いつかないからこそ、市民との協働が必要です。生涯学習と両輪だと思います。参加だけではない指標づくりが必要だと思います。講座に何人参加したかということだけでは、もったいない。宜野湾市の課題に対して、取り組みをいくつかピックアップして市民に説明ができると良いのではないか。</p>
会長	<p>今の話は、アウトプットからアウトカムの話です。私は専門が公共政策でありまして、公共政策の中に政策評価があります。これまでアウトプット（数値）を追っていったのですが、これからは、アウトカム（成果、質）をどうやって表していくか。今後評価の仕方も研究しながら、どう市民にお伝えしていくかを考えることも必要だと思います。</p>
委員	<p>住民が多様化してきて、自分さえよければいいという人が、多くなっていると感じています。団体の活動に参加する人もごく一部で、活動していない人たちをどう促していくのが重要です。団体に加入していない人も多数います。</p> <p>以前は自治会も活発に活動していたが、自治会の活動が理解されていないことで、協働が進まないという課題があります。</p> <p>どこにも属さない人たちをどういう形で市民活動に参加してもらうかが重要だと思います。</p>
委員	<p>「活動内容が見えない」という問題をよく聞きます。スウェーデンに行ったのですが、ホテルを決めていなくて、ステーションを</p>

	<p>案内された。役所ではないが、ホテルはどこがいいですかと聞くとすぐに対応してもらった。24年も前の話ですが、情報が集約されていて、一元化して案内している場所があった。日本に帰ってくると、分割、縦割りされていたので、ステーション的な役割がヒントになるのではないかと考えます。</p> <p>自治会も距離が遠くなってきています。見えないから入らない。メリットがない。見えるようにすると、何かに参加したい人たちが、アクセスできる一本化された窓口があれば、良いのではないかと考えます。</p> <p>組織に入らなくても情報が得られる「ステーション」のようなものがあれば、どこからでもアクセスできる、そういうものがあれば良いと思います。</p> <p>自治会がその役割を担えるのではないかと考えています。</p>
委員	<p>すごくいいと思います。ワンストップセンターです。市民協働の窓口になるような場所が必要だと思います。</p>
委員	<p>成果の見せ方として、助成金事業、活動期間内に行われたことだけを評価するのではなく、支援が終わった後の活動も、継続して、効果を拾うことができるのであれば、アピールに繋がるのではないかと考えます。</p>
会長	<p>補助金のその後の自走に結び付いたなど、長期的な効果をとらえていくことも大切ではないかと思えます。</p>
会長	<p>次の議題もありますので、5分程、休憩していただいて、議題3協働事例の共有について進めていきたいと思えます。</p>
	<p>(休憩)</p>
会長	<p>それでは再開したいと思います。それでは議題3協働事例の共有について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局よりワークの説明 (3ページのシートに個人で記入し、それぞれ発表をお願いします)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①活動の内容 ②活動の課題 ③今後取り組みたいこと ④市民協働の推進に必要なこと

<p>委員</p>	<p>発表できそうな方から、始めたいと思います。ではお願いします。</p> <p>①沖縄NGOセンターで、県内のNGO活動を推進しています。取り組んでいるのは、多文化共生事業、世界のウチナーンチュ、SDGsの推進です。</p> <p>③今後は市内の団体と協働のファンドトレーディングに関わりたいです。</p> <p>②宜野湾市内の団体、組織とコラボレーションすることが少ないので、今後取り組みたいです。</p> <p>④評価の仕方を徹底して取り組んできたので、評価の方法について共有できると考えています。SDGsと一緒に取り組みたい団体があれば、ぜひ一緒にやっていきたいです。</p>
<p>委員</p>	<p>①企画部で、企業版ふるさと納税の推進を行っています。市外の企業が寄付した場合、最大9割の税控除が受けられます。宜野湾市をどのようにPRしてくかが課題と考えています。</p> <p>③ふるさと納税の制度について企業にPRしたいです。社会貢献としてやってもらえないかと考えています。</p> <p>④社会貢献団体と企業とのマッチングが必要だと考えます。寄付をしたお金が、何に使われているのかがわかる仕組みを作る必要があるのではないかと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>①女性団体連絡協議会で、地域活動をしながら、女性の地位向上のための活動をしています。</p> <p>②コロナの中で、リモートで会議ができるように学んでいるところです。</p> <p>③私たちの活動拠点は「めぶき」ですが、Wi-Fi環境が整っていないという課題があります。また、機器を使う際のヘルプがないというのも課題だと考えています。もし、その様な取り組みができれば、一緒に取り組みたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>①社会福祉協議会では、ミニデイサービス、高齢者の見守り、美化活動などを行っています。</p> <p>②コロナで高齢者の方が外出する機会が少なくなっているため、送迎やボランティアの育成が課題です。</p> <p>③今後、企業や団体さんと連携することができれば良いと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>①ラジオ放送を行っていますが、今年度、市の助成事業を受けて、</p>

委員	<p>地域支援部を設立しました。フードバンク、困りごとの解決を目的としています。また、市内の広報人材育成事業を行っています。</p> <p>②事業費の捻出、人件費、体制づくりが課題です。</p> <p>③宜野湾市の中間支援組織になっていきたいと考えています。ラジオパーソナリティーとマッチングすることも可能です。また、情報ステーションというのは、僕らがやりたいと思っていたことなので、やっていきたいと考えています。</p> <p>④地域と企業との連携が大事だと思っているので、そうした中間支援をやりたいと考えています。</p> <p>①青年会議所は全世界のネットワークを活かして、青少年育成をしています。若手経営者の修練、まちづくりなどを行っています。</p> <p>②パートナーシップをいかに進めていくかが課題です。</p> <p>③今後取り組みたいことは、会員の会費で活動を行っているため、協力している企業、団体を巻き込んで活動をしていきたいです。また、自分たちの活動内容を、もっと発信していきたいと考えています。</p> <p>④情報ステーションは非常に良いと思います。食糧支援をした時にどこに寄付したらいいかわからなかったのが情報が一元化されていれば、すごく助かります。</p>
委員	<p>①沖縄国際大学で、学生が地域貢献に取り組みながら、学ばせていただくという取り組みを行っています。学生からコロナが収まった後、こども食堂のサポートに取り組みしてみたいという話があり、コロナの状況でもできる支援を考えています。</p>
委員	<p>①自治会の支援をしています。年々会員が減少し、平均の加入率が25%となっており、地域の見守りや防犯活動、地域の方々の交流、伝統継承など、色々自治会が担っていることに影響が出ています。</p> <p>②自治会がどういう活動をしているのか、知られていないので、周知の強化をしていく必要があると考えています。自治会の特性を活かしながらメリットをどういう風に作っていくか、自治会と一緒に考えたい。高齢化をしていて、若い世代をどう引き込んでいくかを考えていく必要があります。</p>
委員	<p>①資格制度を基にした人材育成、地域公共政策士の講座を開催しています。人材育成だけではなく、育成した人の活動の場も作っていかうということで、沖縄地域公共政策研究会を立ち上げ、資格者が研究者と一緒に活動する場づくりも行っています。研究会</p>

<p>会 長</p> <p>閉会</p>	<p>メンバーが宜野湾市の市民提案事業に応募し、現在活動しています。地域連携推進機構と宜野湾市は、包括連携協定を結んでおり、今後、宜野湾市のプロジェクトと大学の授業の連携を進めていくことができると考えています。宜野湾市は大学生が多くいるので、大学の若い力を活用してほしい、橋渡しをしていきたいと考えています。</p> <p>事務局で整理をしていただいて、取りまとめて頂くということで、よろしいでしょうか。それでは、事務局にお返ししたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>閉会</p>
----------------------	---